

令和4年司法試験 合格体験記

2021年度修了（既修コース）中村 優里

17期既修の中村優里です。香川大学に進学した後、岡大ローに入学しました。

私は褒められた生徒ではありませんでした。単位は落とすは、模試の成績は悪いは、予備の択一も惨敗となかなかの落第生でした。司法試験に自分なんか合格するわけがないと何度も心が折れそうになりました。そんな中でも、私を支えてくださって合格すると信じてくださった両親、先生方・資料室の方々、同期・先輩・後輩には感謝しかありません。ありがとうございました。

勉強ができないという話をしたのは単なる自虐ではありません。後輩の励みになればいいと思い、自身の経験から思ったことを書きたいと思います。

1年生の時みんなと同じよう起案を上手に書けなかったり、単位を取ったりできない自分を悔しく思いました。そこで、私は勉強をするにあたって、自分にとって必要で、かつその中で自分ができることを最大限できるように努める方針に変えました。そもそも司法試験合格に必要な勉強は人それぞれ違うと思います。文章を書くのが上手な人が、文章作成の勉強はしなくてよいし、ある分野について司法試験に合格する以上の学力がある人が、その分野につき他の科目より勉強する必要性はないです。先輩や同期と同じことをすることが必ずしも司法試験に合格する勉強ではありません。そこで、今から司法試験を受ける人には、自分の課題を常に考え、その課題がそれぞれ違うのだから自分が他人より劣っていると考え、自分のことを必要以上に責めないようにして欲しいと思います。ちなみに私は、自分に必要なことが分からず、同期に追いつき置いていかれたくない気持ちで焦り、必要ないことや自分にはオーバーワークであることを行って無駄な日々を過ごしたこともありました。

日々、努力している限り、昨日の自分より今日の自分の方が司法試験合格に少しずつ確実に近づいています。司法試験合格という夢の実現まであと少しです。頑張れ！